

主催：四日市大学 後援：三重県 / 四日市市

四日市大学公開講座2026

2026. 9/19 [sta]

[時間] 10:00～12:00
(入場開始 9:30～)

[場所] 四日市大学 122教室



「見えない避難者」をどう支えるか？

～ふたご・みつごの防災から考える、地域の多様性と福祉～

災害時、「まずは指定避難所へ」が一般的な防災の基本とされています。しかし現実には、物理的・心理的なハードルから避難所に行けない人たちがいます。たとえば、ふたごやみつご（多胎児）を育てる家庭です。大型ベビーカーでの移動の難しさ、泣き声による周囲への気兼ね、専用の支援物資が不足していることなどから、避難所を諦めて車中泊や半壊した自宅での生活を余儀なくされるケースが少なくありません。結果として、彼らは指定避難所の外にいるため、行政からの支援や正確な情報が届きにくい「見えない避難者」となってしまいます。そしてこの構造は、多胎家庭に限った話ではありません。介護が必要な高齢者や障害のある方など、地域で暮らす多様な「要配慮者」にも共通する社会課題です。

本講座では、データや生活の実態から「見えない避難者」が生まれる背景を考えます。後半のワークショップでは、公的な支援が届きにくい状況に対して、市民やNPO、地域社会がどのように連携して支援を届けられるのか、参加者の皆さんと一緒に実践的なアイデアを考えます。

地域の防災や福祉に関心のある方から、子育て世代、学生の方まで、幅広い方のご参加をお待ちしております。



親子参加
できます

本講義は親子での参加も可能です。小さなお子様連れの方は、別室で講義の様子をモニターで見ることができます。

【対象】 2歳以上～ ※託児ではありませんので、ご承知おきください。



講師Profile

四日市大学 総合政策学部 松本彩月 先生

専門分野...社会学、地域福祉、社会福祉

地域福祉の立場から、多胎育児家庭を支える仕組みづくりについて研究・実践を行う。
行政と民間の力をどうつなぎ、現場の声をもとにした支援を実現できるのかをテーマに活動している。
自身も双子の母として子育てを経験し、「支え合いが自然に生まれる地域」を目指して取り組んでいる。
日本多胎支援協会理事、沖縄多胎ネット顧問



申込方法

事前予約制・入場無料

申込はQRコードを読み取り、フォームにてお答えください。

申込締切日後のご予約は、お電話にて承ります。

四日市大学 社会連携センター

Tel : 059-365-6712 Mail : renkei@yokkaichi-u.ac.jp

▼お申し込みはこちら
締切：9月10日(木)まで

